

歴史地理教育 2023 年 6 月号 所載 「高校の授業：先行試行した『日本史探究』中世の日本と世界の授業」 関連資料  
資料 1 授業ワークシート

テーマ：探究テーマを自分で考えてみよう

1 趣旨説明

省略

2 自習内容

時代の大きなスパン（鎌倉時代～室町時代）の中で、自分で「探究テーマ」を立ててみる。

考える流れ・手順

- (1) これまでの学習で、君たちは「古代」～「中世」への転換を学習しました。すなわち、
- ① 政治権力が、貴族⇒朝廷（上皇による院政期）⇒少しずつ武士⇒幕府と朝廷の併存
  - ② 租税の取り方が変化していったこと（戸籍ベースから土地ベースへ、国司が一括で、  
実際の土地の管理は田堵⇒開発領主⇒地頭などへ
  - ③ 仏教は、世俗化（強訴や国司との対立へ）、また浄土教は地方へ広がる
  - ④ 外交関係は、遣唐使を廃止し、宋との私的貿易（平氏や民間）へ
  - ⑤ 文化は、庶民文化（猿蓑や田楽、今様）と貴族文化の交流へ

など

- (2) 上記を踏まえて、鎌倉時代～室町時代の中学校の学習内容も思い出しながら、教科書も見てこれから探っていきたいテーマを設定しましょう。

アドバイス

- (1) 視点をしぼる。(例、政治的権力、経済、文化、幕府、外交関係、女性など)
- (2) 大きな流れ（スパン）と視点で考えられるようなもの。  
例えば、「源氏はなぜ権力からはずれたのか？」とかだと話がすぐ終わってしまう。  
「当時の人たちの遊びはどんなものがあったのだろうか」とかだとマニアックすぎる。
- (3) 比較、変化や推移、原因と結果などから考えるとよいかも  
例、●●は、どのように変化していったのだろうか？  
○○と●●は、どのような点において同じで、違ったのだろうか？  
なぜ～のような状況がおこったのだろうか？

失敗してもぜんぜん問題なし！変な事なんて何もない！  
金曜日は、1人1台PCを使います。

自分が考えた探究テーマ

資料 2 生徒の「時代を通観する問い」の例

朝廷と武士の政治の共通点と相違点とそれらが人々に与えた影響はなにか。
政権の変化が人々の生活にどのように影響したのか。
武士の立場が確立された後、天皇や貴族の立場はどう変わったか。
鎌倉時代の武士と室町時代の武士の性格の共通点と相違点は何か。
鎌倉・室町幕府が減びないためには何をすべきだったのか。
幕府が減びる背景は時代によってどのような違いがあったのだろうか。
中世において中国との交易が日本にもたらした影響はなんだろうか。
中世における政治形態・経済状況の変化は、その当時の文化にどのような影響をもたらしたのか。
鎌倉、室町時代(中世)の文学の発展～武士の世となって何が変わったのか。
文化や宗教は鎌倉と室町でどんな違いがあり人々にどんな影響を与えたか。

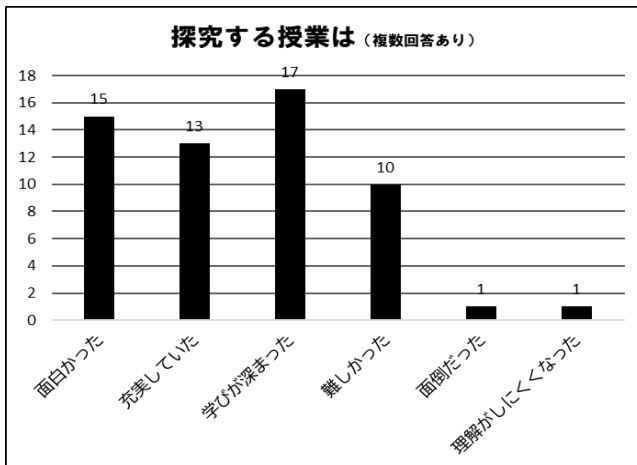
資料3 生徒の問いとまとめ（一例）

	生徒 A（歴史苦手）	生徒 B（歴史普通）	生徒 C（歴史得意）
通観する問い	<p>自分が設定した探究のテーマ</p> <p><b>鎌倉幕府滅亡と室町幕府滅亡の共通点と相違点</b></p> <p>なぜ、そのテーマにしたのか？</p> <p>鎌倉幕府が滅亡したあとに成立した室町幕府は鎌倉幕府よりも短い期間で滅亡してしまっただけでなく、鎌倉幕府が滅亡した原因を改善して室町幕府が成立していたら鎌倉幕府よりも長い間存在することができそうなのに疑問に思った。鎌倉幕府滅亡の原因が改善されていないかったのか、新たな問題が発生したのか、強力なライバルがいたのか…。</p>	<p>自分が設定した探究のテーマ</p> <p><b>日本と外国の関係の変化によって、文化にどのような影響がもたらされたのか</b></p> <p>なぜ、そのテーマにしたのか？</p> <p>・鎌倉時代は元寇があり、琉球王国やアイヌの人々に変化があったりと外国との関係性に変化が多く起きた時代なのでその変化が日本の文化にどんな影響をもたらしたのを知りたかったから。</p> <p>・過去の学習のなかで外国との交流で新しい文化が生まれたり、既存の文化に変化が生まれたりしていたのでこの時代でもそうだったんじゃないかなと思ったから。</p>	<p>自分が設定した探究のテーマ</p> <p><b>鎌倉時代の武士と室町時代の武士の性格の共通点と相違点は何か？</b></p> <p>なぜ、そのテーマにしたのか？</p> <p>鎌倉時代の武士は源頼朝を始め、内乱などが多かったりしたが、室町時代の武士は外交上の問題が多かった感じがしたのでそういう面でもなぜそうなったのか調べたいと思ったから。</p>
仮説の設定	<p>【仮説】の設定</p> <p>▶共通点</p> <p>幕府の権限が強くなったことによって不満を持つ人が増えて、争いが多発することで幕府が衰退していった。政治の実権を握っている人への信用が失われていった。</p> <p>▶相違点</p> <p>幕府を滅亡に追いやった人の地位が違う（天皇と他の武士）</p>	<p>【仮説】の設定</p> <p>▶政治の実権を握るのが武士になった → 交流や貿易など日本と関係を持つ国が変わったのではないかと</p> <p>▶関わる国が変わることで今までなかったものが日本に持ち込まれる → 文化に影響を与えた？</p> <p>▶鎌倉時代は仏教の変化があった時代 → 海外の僧侶を招いていたら、その国の文化を持ち込んでいたかもしれない</p>	<p>【仮説】の設定</p> <p>・鎌倉時代は主に内乱が多かったが室町時代の武士は宋との関係が悪化して戦いがおきたのではないかと。</p> <p>・鎌倉では幕府の権力が上がり、武士の統率力も上がった。</p> <p>・鎌倉時代は反乱が多く、その反乱を鎮圧することで支配領域を広め、権力を強めていった。</p> <p>・承久の乱により、幕府の権力が上がったことで皇族将軍を招くことが出来たりと活動範囲を広げていた。</p> <p>・法律をつくりたり、戦うのみでなく、政治などに詳しくなったのではないかと。</p>
授業の振り返り例	<p><b>N04-6 幕府の政治権力の推移</b></p> <p>本時の学習で大切だったこと</p> <p>北条泰時が御成敗式目制定した目的は、御家人と荘園領主の紛争を公平にさばくことと、守護と地頭の権限を定めることである。これは、朝廷や荘園の法を骨かきながら、あまり恨まれずに徐々に効力を持っていた。蒙古襲来によって、日本という国の人であるという意識が高まり、北条氏の権力はより広範囲に強まっていた。</p> <p>探究のテーマに関連して大切だったこと</p> <p>鎌倉幕府最後の執権である得宗、北条高時は政治に関与しなかった。そのため、内管領、長崎高直が権勢をふるうようになり、鎌倉幕府の政治が乱れ、反発が広がった。悪良親王や河内の悪党、楠木正成などが挙兵し、全国の御家人も討幕運動を始めた。有力御家人、新田義貞は関東で挙兵して鎌倉幕府に攻め入った。そして、1333年鎌倉幕府は滅亡した。</p>	<p><b>N0.17 室町文化にはどのような特徴があるのか、またそれはなぜか？</b></p> <p>本時の学習で大切だったこと</p> <p>南北朝時代の文化 バカラにより新しい芸能文化が流行 これを土台に北山文化、東山文化が形成されていく。 北山文化→武家の文化や禅の文化などいろんな文化が混じったもの 東山文化→禅の精神による簡素さと幽玄などの美意識</p> <p>探究のテーマに関連して大切だったこと</p> <p>五山文化 五山=禅 水墨画 禅の精神世界を具体化した絵画 五山文学 宋学の研究や漢字文の創作 禅宗と雰囲気と中国の文化が混じる 僧である絶海中津、善宗周信らがでて最盛期となる 幕府の政治外交顧問としても活躍</p>	<p><b>No.7 武士たちの生活のようすは、どのようなものだったのだろうか</b></p> <p>本時の学習で大切だったこと</p> <p>地頭たちの動きが活発化したことで年貢の納入を請け負った。→地頭請願 御家人の困窮も浮かび上がってきた。それは元寇の影響だったり、土地に関する分割相続の仕組みに原因があった。</p> <p>探究のテーマに関連して大切だったこと</p> <p>御家人たちは、自分たちの所領をもち、それを耕作する農民がいる。 この時代は幕府が反発する悪党の存在が出てきた。 武装化し、年貢の納入を拒否したりした。→幕府の権力の低下</p>
仮説の追加・修正	<p>【仮説】の修正</p> <p>▶共通点</p> <p>・政治の実権を握っている人への信用が失われていった。</p> <p>▶相違点</p> <p>・幕府を滅亡に追いやった人の地位が違う（天皇と戦国大名）</p> <p>・室町幕府は、もともとそれほど強い権力をもっていない（将軍も暗殺される）。下剋上</p> <p>・応仁の乱後、特に混乱</p>	<p>【仮説】の追加</p> <p>▶鎌倉の執権は、禅宗の僧を招いて現在のものころ有名な寺をつくらせた。</p> <p>▶宋から宋学（儒学）が伝えられ、その後の日本の政治にも影響を与えた。</p> <p>▶室町時代には、足利義満も中国の僧を外交顧問にしている。⇒文化にも影響？</p>	<p>【仮説】の追加</p> <p>室町時代も鎌倉時代と同じで敵を排除することで権力の集中を図った。 室町時代は、「守護」の力が強く、将軍を暗殺することも・・・ しかし、農民層の力が上がってきたことで農民が一揆を結ぶようになった。そこから武士と農民が団結して上の身分の者を排除していくようになった。農民の身分だけだと、侍のようになった地侍 権力が上がったのは武士だけではないと分かった。</p>
まとめ（一部）	<p><b>共通点</b></p> <p>鎌倉幕府、室町幕府は共に最初の頃は安定しているが、次第に自分の地位に自惚れてしまって独裁政治を始めてしまう。そのため、幕府への不満が高まっていき倒幕へと追い込まれてしまった。また、両幕府とも自分たちよりも地位が低かったものに討幕されている。</p> <p><b>相違点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕府を最終的に滅亡させた人の地位 鎌倉幕府→天皇、有力御家人 室町幕府→戦国大名（織田信長）</li> <li>最大の起因となった人物 鎌倉幕府最後の執権得宗は、権威を重んじて政治にあまり関心を示さなかった。 室町幕府6代将軍義隆は、「恐怖政治」と呼ばれるほど暴力な政治に専念したが守権によって殺されてしまった。また最後の将軍義昭も何となく幕府を再建しようとした。 室町幕府は、最初から安定していない。関東には鎌倉幕府もなかった</li> </ul>	<p>▶五山文化 室町時代に流行</p> <p>▶水墨画</p> <p>禅宗の僧侶によって仏教に関連したものが描かれる。雪舟が現れて全盛期を迎える。 中国水墨画から日本独自の水墨画へと発展させる。</p> <p><b>五山文学</b> 宋学や漢字文の創作 僧侶らが宋学の研究をするとともに幕府の政治外交顧問としても活躍した。日本に中国文化を広めるきっかけにもなった。=義満の外交政策と関連している</p>	<p><b>共通点と相違点</b></p> <p>共通点・自分に権力を集めるために周りの人を排除していた部分がある。 ・戦うだけでなく、政治的な力や経済のセンスも必要</p> <p>相違点・鎌倉時代は蒙古襲来が起きていたり、外交上の問題もあったが室町時代の将軍は有力守護など、自分にとって不利になりそうな相手は排除することで自分に権力を集めようとしていた。 ・他にも有力農民たちが一揆を起こし、下剋上の状態が生まれた。この頃の武士は足軽という機動力に富んだ武士も登場。農村からも地侍が現れる。同一人物か？ ・鎌倉時代は武士も朝廷を上手く利用している感じがしたが、室町時代は天皇の存在感がない。</p>

資料 4 「中世の日本と世界」全体の授業時数

各授業毎の主題（問い）	時間数
「時代の転換」に関わる授業	9
「時代を通観する問い」の設定	1.5
「仮説」の表現（鎌倉時代まで）	1.5
鎌倉幕府の政治的権力は、どのように推移したのだろうか	4
武士（御家人たちの生活は）のようすはどのようなものだったのか	1.5
鎌倉時代の経済や社会にはどのような変化があったのだろうか	1
鎌倉時代の文化は、当時の政治や社会の影響をどのように受けているのだろうか	1.5
「仮説」の補強・修正（室町～戦国時代）	1
室町時代の政治的権力は、どのように変化していったのだろうか	5
室町時代の対外関係は、どのような特徴をもったのだろうか	1.5
室町時代の農村（民）には、どのような動きが見られたのか	1.5
室町時代の経済にはどのような新しい動向が見られたのか	1.5
室町期の文化の特徴は何か、また現在の私たちとどのようにつながっているのか	1.5
探究のまとめ	1
	計33

資料 5 生徒へのアンケート結果（記述は一部抜粋してある）



**Q良いと思ったこと、面白かったことは？**

- 自分で問いをみつけ、仮説を立て、検証していくという学び方が自分の探究したい課題の知識を深く理解できるようになるので、これからもこのサイクルを実践していきたいと思った。
- 暗記メインから自分で考えることも増えた。
- 普通に授業を受けるよりも、自分が注目すべき点や知りたい点が明確になって、普段よりも授業への意識が高まった。
- ただ受け身で学ぶだけでなく自分が気になることは自発的に調べたりするようになった。
- 周りが違う問いを追っているので仲間内で話をする時に違う視点の考えが聞けて面白いと思った
- それぞれの時代の特色はどういうものかを意識しながら学習を進めるようになった。
- 時代背景など、見えない部分まで、思考するようになりました。より根本的な部分を見ることができるようになりました。

**Q今後の歴史の学習に生かせそうなことは？**

- 自分なりの何か視点をもって、あらゆる角度から歴史をみたい
- 時代背景や出来事をより理解しながら学習を進めていきたいと思ったし、疑問をもつことも大事だと思う
- ただ暗記するだけでなく、時代の流れや背景を理解しながら、記憶を紐づけていこうと思います。
- これはどうしてなのかと疑問をもちながら日本史を学ぶこと
- 時代と時代の移り変わりを要チェック
- 何らかの共通点があることを知ったので、当時の状況を学ぶことで出来事の発生理由も深く考えることが出来る
- ただ先生の話聞いてるだけではなくて、文化の違いなどさまざまな時代と比較できるようにしたい